

学校教育目標

とみえの子「徳・未来・英気」

9月の振り返り… 酷暑の中、よく頑張った！

良かった点

1. 思ったよりもスムーズな2学期のスタート
(1) ほぼ連日「熱中症リスク」が続き、不快な環境下で、大崩れしなかった。
(2) 一人一人が目標を立てて頑張ろうとしていた。
(3) 掃除、当番活動など「型」はできている。

気になる点

1. 頑張りをいかにして持続させるか？
(1) 「突発的で一時的な頑張り」を、こつこつと根気強く頑張る姿勢につなげたい。
(2) 結果だけではなく、途中の過程をスモールステップで褒めていくことが必要か？
(3) 「やらされる」ではなく「もっとより良くしたい」と考えさせたい。

◎支援員さんの記録に、改善に向けてのヒントあり。子供のつまずきの背景に目を向けよう。



「がむしゃらにやる」10月

☆気分は関係なく、やるしかない！
・小体連、校外学習、社会科部会開催…
☆子供の向上的変容を喜びたい！

趣 旨

1. 「学力向上」にがむしゃらに取り組む
(1) 授業中、「座っているけれども、思考していない」子供をどう巻き込むか？
① 「主体的・対話的で・深い学び」をどのように仕込むか？
(2) 学力向上プランを意識した授業実践（算数）
① 題意をしっかりとつかむ
② 既習の「何が」解決に使えるか（見通し）
③ 既習の知識・技能を活用する
④ 丁寧に、根気強く作業（計算）する

留 意 点

- (1) 丁寧にお膳立てし過ぎると、指示されないと動かなくなる
① どんなめあて、発問を示すか？
- (2) 子供の発言を教師が逐一引き取っていると、お互いの発言を聞かなくなる。対話が育たなくなる。
- (3) 「振り返り」の大切さ
① 本時の学習で何が分かったか
② 何ができるようになったか
③ 誰の考えが参考になったか 等
学んだことの蓄積が、次の学習に生きる

- ◎ 学習規律、学び方のルール徹底
・学習用具の整備（例：短い鉛筆はNG） ・指名されたら、返事をして堂々と発表する 等

2. 行事で鍛える

○小体連 ○校外学習（地域学習） ○小音会

- (1) 活動のねらいを明確にする
- (2) 一人一人の役割を明確にする
- (3) 一人一人の貢献度を明確にする
- (4) 一人一人の成長を実感させる

3. 「芸術の秋」「読書の秋」も充実させたい

- (1) 自分が満足できる作品作り
- (2) 読書週間の取組推進

意識を揃えて取り組もう

○ 時間を守ろう

- ・遅刻をしないように早起きしよう
- ・1分前に準備をととのえよう

○ クロームブックの有効活用…「授業で文具のように使わせる」「持ち帰る必然性のある活動」